

平成27年度 機関保証制度検証委員会

# 機関保証事業概要

平成27年12月1日



公益財団法人 日本国際教育支援協会

Japan Educational Exchanges and Services

# 1. 機関保証センターの体制

## ① 機関保証センターの組織

機関保証センターは、1課(機関保証課)・2係(管理係/企画システム係)から平成26年度より1課3係体制へ充実

【平成26年3月末まで】

【平成27年4月1日】

— 主な業務 —

機関保証  
センター

機関保証課

管理係

企画  
システム係

企画・管理係

債権管理・回収係

システム運用係

被保証者に係る実績・現状報告／  
予算策定／保証料資産運用／  
返戻保証料管理／代位弁済審査・履行

求償債権管理・回収／  
回収委託業者との業務連携／  
貸与継続中・返還中の被保証者  
に係る債権管理

保証料管理システムの管理・運用／  
求償債権管理システムの管理・運用／  
各種統計資料作成

## ② 機関保証センターの人員

【平成16年4月1日制度発足時】 5名

- ・機関保証センター長 (協会プロパー)
- ・機関保証課長 (機構出向者)
- ・機関保証課長補佐 (機構出向者)
- ・管理係長 (機構出向者)
- ・企画システム係長 (機構出向者)

【平成27年4月1日現在】 10名

- ・機関保証センター長 (協会プロパー) 民間金融機関出身
- ・機関保証課長 (機構出向者)
- ・課長補佐兼企画・管理係長 (機構出向者)
- ・企画・管理係主任 (協会プロパー) 民間コンサルティング会社出身
- ・企画・管理係員 (協会プロパー)
- ・債権管理・回収係主任 (機構出向者)
- ・債権管理・回収係主任 (協会プロパー)
- ・債権管理・回収係員 (協会プロパー)
- ・企画システム係主任 (機構出向者)
- ・企画システム係員 (機構出向者)

◇機構出向者は、基本的に10年以上の奨学金実務または機関保証実務経験者

# 2. 機関保証体制と制度スキーム

平成26年度決算ベース

## 日本国際教育支援協会

役員・総務部(総務課・会計課)  
機関保証センター10名

- 特徴
- ①低廉な保証料(年率0.693%)
  - ②無審査での保証引受
  - ③猶予・免除有り
  - ④収支相償

システム会社社員 4名  
常駐での管理運営

### 保証料管理システム



### 求償権管理システム

求償債権回収

協会での回収

+

債権回収業者(サービサー)による回収

代位弁済履行者に対する債権回収

H26年度回収額 1,423百万円  
累計回収額 3,346百万円

24,793百万円  
(毎月の奨学金から差し引き方式)

保証料支払

奨学生

平成26年度  
新規採用件数47万件

選択

選択

### 機関保証選択者

平成26年度  
選択率 46.3%  
新規加入件数  
216,812件

選択件数累計  
1,784,240件

人的保証  
選択者

返還督促

債務不履行

貸与

返還

貸与

返還

データ

### 日本学生支援機構 債権管理部

延滞者に対し  
機構において  
十分な督促

代位弁済請求

代位弁済履行

大学教授  
および  
公益法人  
運用担当者  
による

資産運用  
検討  
委員会 6名

外部有識者(弁護士)  
を入れての審査

代位弁済  
審査会 5名

1,951  
百万円

利息

資産運用

+13,251  
百万円

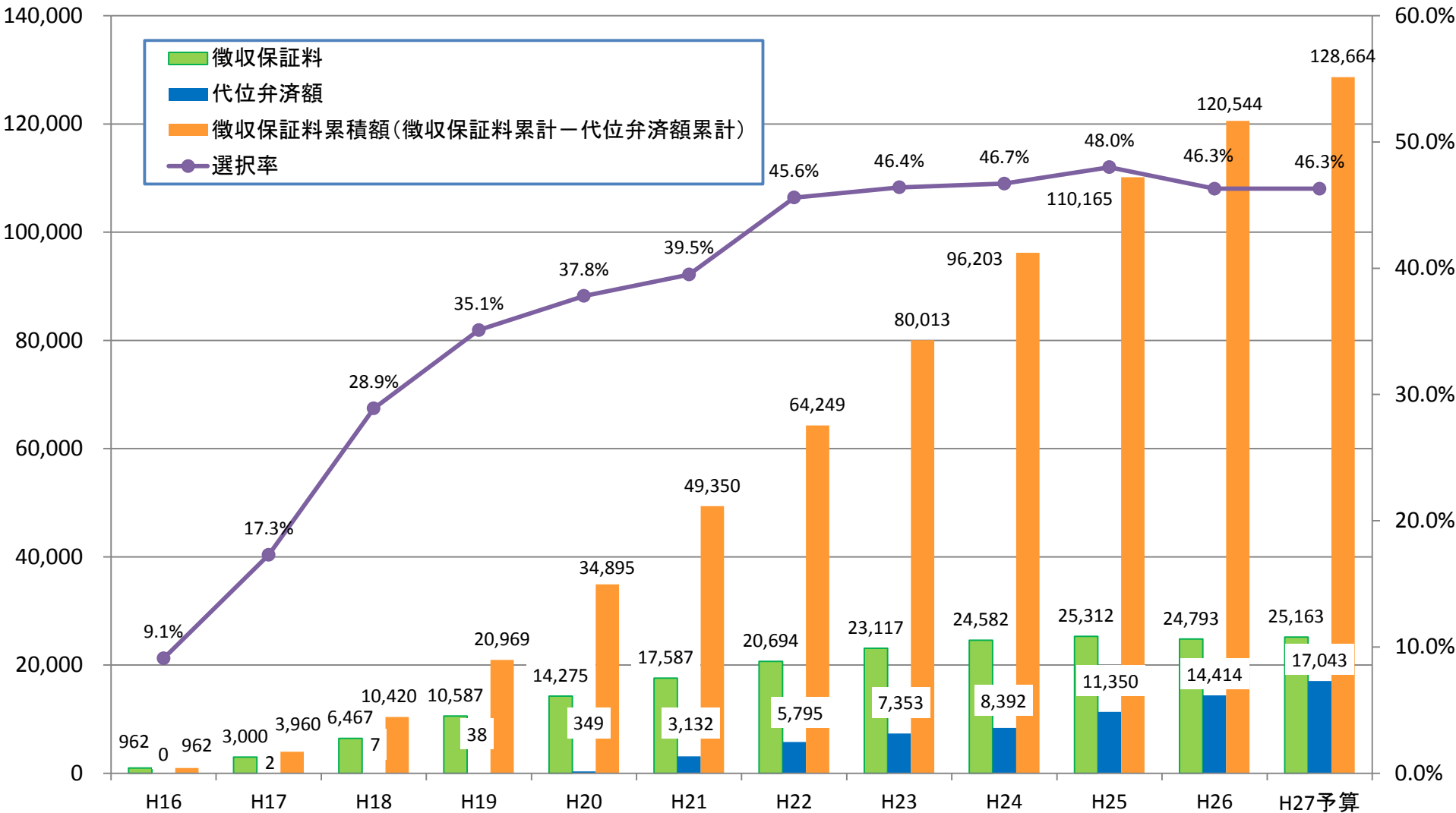
金融機関：運用資産124,084百万円

○平成26年度代位弁済 履行実績 6,848件 14,414百万円  
○代位弁済履行累計実績 26,047件 50,832百万円

# 3. 年度別 機関保証制度推移

①徴収保証料・代位弁済額・徴収保証料累積額・新規選択率の年度別推移

単位: 百万円



平成27年度9月末実績は下記のとおり。

・徴収保証料 : 10,112百万円  
 ・代位弁済額 : 5,970百万円  
 ・徴収保証料累積額 : 124,686百万円  
 ・選択率 : 43.3%

## ②経過保証料(収入保証料)

単位:百万円

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27予算
47	247	697	1,456	2,498	3,795	5,353	6,957	8,670	10,402	12,031	13,236

## ③債務保証残高

単位:百万円

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27予算
21,797	88,566	229,230	452,178	742,152	1,083,435	1,466,742	1,875,871	2,287,421	2,682,341	3,035,377	3,384,228

## ④受取利息(上段)・運用利回り(下段)

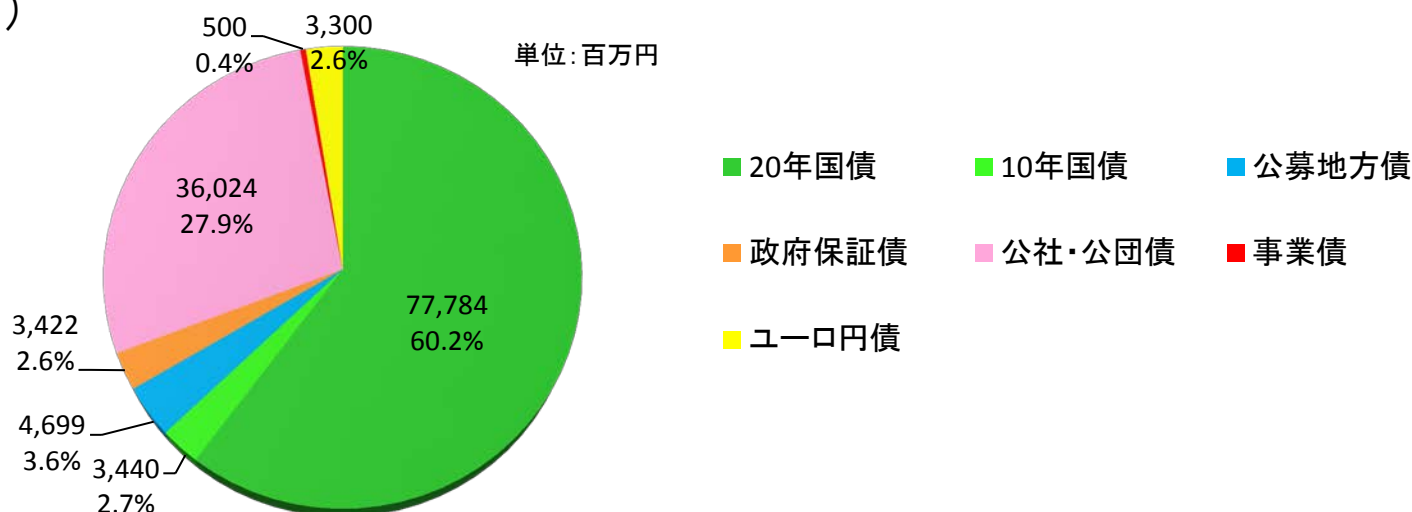
単位:百万円(上段)  
% (下段)

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27見込
0	21	88	230	514	758	902	1,346	1,448	1,821	1,951	2,184
-	1.52	1.78	2.19	2.16	1.93	1.61	1.62	1.75	1.69	1.63	1.63

## ⑤保有資産(簿価)

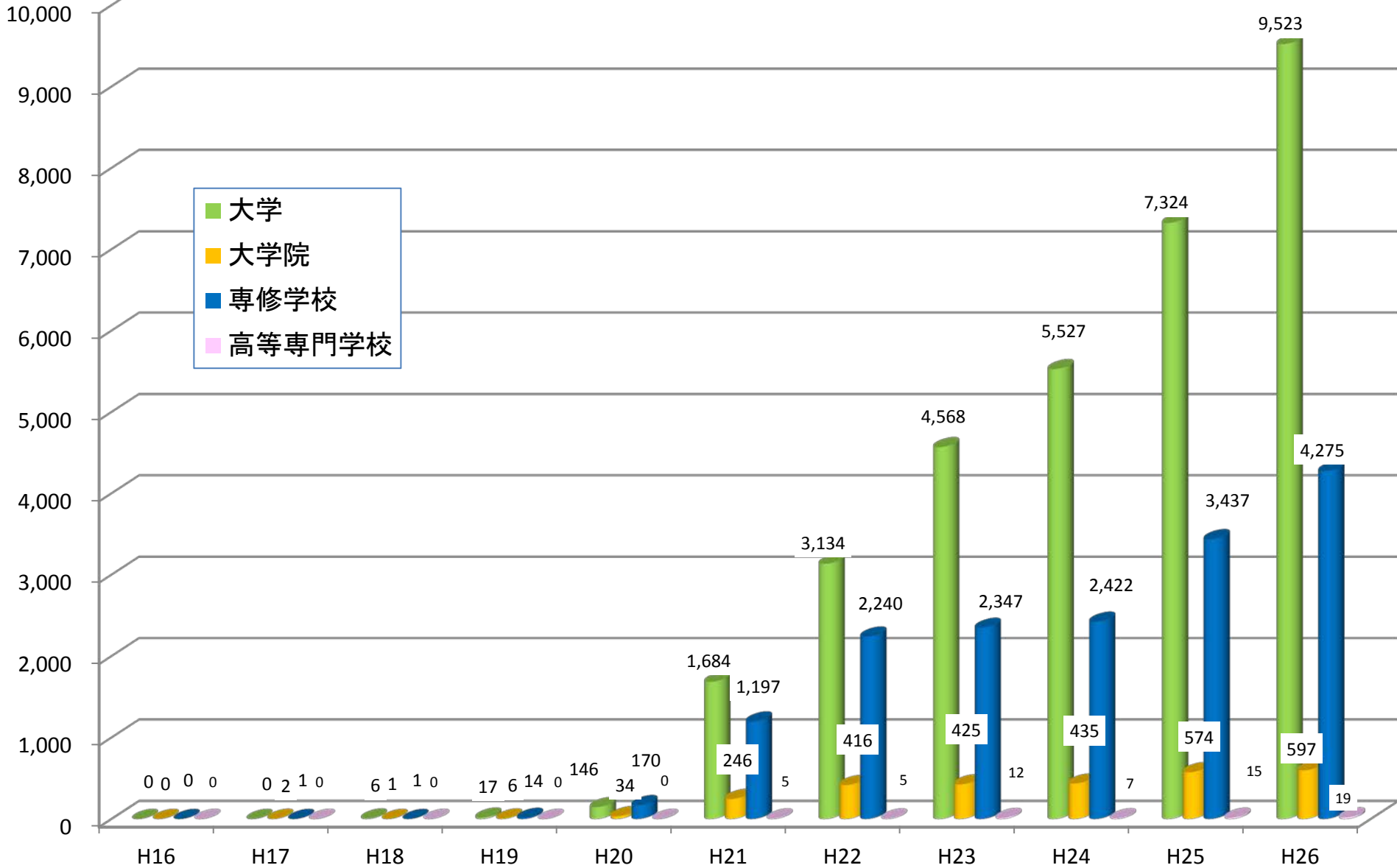
1,292億円  
(平成27年9月末現在)

単位:百万円

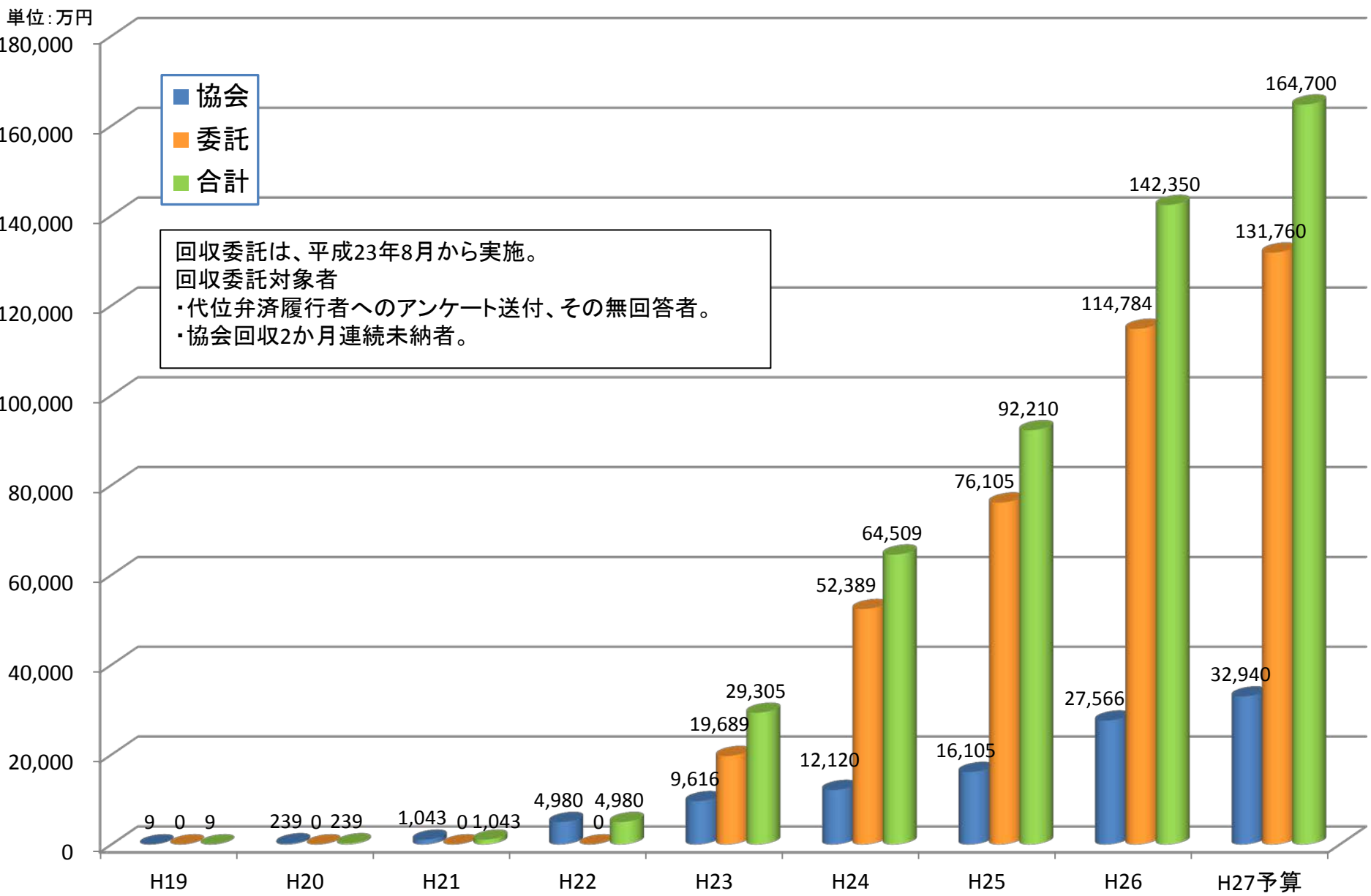


# 4. 学種別 代位弁済額

単位: 百万円



# 5. 年度別 求償債権回収額状況



H27年度9月末実績は、協会17,766万円、委託69,260万円、合計87,026万円

## 6. 求償債権の回収強化に向けて

### 回収体制の強化

- 平成29年度までに2名の職員増員を予定。
- 機構との人事交流を活発化するとともに、日常業務における機構との密なコミュニケーションを継続。ノウハウも共有。
- 協会回収状況の機構との打ち合わせを、毎月実施。
- 協会回収を強化。アンケート回収率の向上。協会維持率の向上。

### 法的措置の導入

- 平成26年度下期に支払督促催告書を内容証明郵便にて送付。送付1,377件、送達785件(57.0%)、入金217件(27.6%)
- 平成27年度上期実績は、送付1,356件、送達685件(50.5%)、入金187件(27.3%)
- 支払能力があると判断できた者には支払督促申し立てを6件実施済(2件は支払に応じた。4件はフォロー中)。追加にて9件の支払い督促申し立てを予定中。
- 平成27年下期にも2,000件の催告書を内容証明にて送付予定。

### サービサーの活用

- サービサーとの情報交換、情報共有化を促進させるとともにより効率的な回収策を検討・推進。
- サービサーとの打ち合わせを、毎月実施。
- 機構におけるサービサー活用のノウハウ提供を受け、協会のサービサーとも共有し、更なる回収の向上を推進。